

2024 年度 絵画科日本画専攻 実技試験
第 1 次 「鉛筆素描」

【出題】

二日間で鉛筆素描一枚を完成させなさい。

※但し石膏像は二体以上描くこと

画面は縦に使っても横に使っても構いません。

一日目 9:00～12:00 12:30～15:30 (昼食時間 12:00～12:30)

二日目 9:00～12:00 12:30～15:30 (昼食時間 12:00～12:30)

- ・ 開始の合図があるまでパネル・イーゼルには触れないでください。
 - ・ 出席確認、試験中の諸注意が終わるまで着席して静かに待ってください。
 - ・ イーゼルはセットされた位置から動かさないでください。左利きの人は監督員に申し出てください。
 - ・ 前列の人は、パネルをセットされている位置より高くしないでください。
 - ・ 試験時間中に絵画棟の外へ出ないでください。
 - ・ トイレ等で入退室する場合は、試験監督員に受験票を見せて下さい。
 - ・ 通信機器及び撮影機器の大学構内での使用は一切禁止されています。使用が発覚した場合、失格となります。
- 現在持っている人はマナーモードにして、イーゼル左下の封筒に受験番号を記入して中に入れて下さい。
- ・ 封筒はイーゼル左下に貼って下さい。
 - ・ このまま、15時30分の試験終了まで、イーゼルに貼ったままにしてください。
 - ・ 試験終了後は封筒に入れたまま持ち帰り学外で開けてください。

開始の合図があったら。

- ・ 氏名記入欄に名前をはっきりと記入して下さい。
- ・ エスキースをする場合はこの用紙の裏を使用して下さい。
- ・ この出題用紙は試験場から持ち出さないでください。一日目の11時30分に回収します。
- ・ 昼食は自席でとってください。
- ・ 昼食時間は12:00～12:30です。
- ・ 昼食時間中、制作は出来ません。

2024年度 絵画科日本画専攻 実技試験 第二次「着彩写生」

1日目 09:00~12:00 12:30~15:30

2日目 09:00~12:00 12:30~15:30

(変更になる場合には指示があります。)

【 出 題 】

■各自の木机と中央の白テーブルにある以下のモチーフを画面上で組み合わせ、構成して着彩写生すること。

各自の木机

●ヤマメ×2 ●保冷箱（フタ含む）×1 ●ヒノキの葉×1枝 ●クラッシュアイス

中央の白テーブル

●スギ×1束 ●円筒ガラス器×1 ●切炭×3個以上 ●薪×3 ●サザエの貝殻×3

※中央のテーブルのモチーフは動かさない。また、木机に配布されたモチーフをテーブルに置くことはできない。

※ヤマメは袋から出してよい。袋は描かない。加工はできない。

※ヤマメに触る際は、ビニール手袋を使用してもよい。手袋は描かない。

※氷の袋は描かない。

クラッシュアイスは、以下の時間に配布を行う。溶けた氷は監督員のバケツに捨てること。

3月 6日	9:00	古い氷を捨て、新しい氷と交換。 新しい氷の袋を破り、氷を保冷箱に開ける。
	12:30	新しい氷を配布。 必要があれば、溶けた氷を監督員のバケツに捨て、氷を追加する。
	15:00	古い氷を捨て、新しい氷と交換。各自が保冷箱にヤマメ・ヒノキ・袋のままの氷を収め、フタをして保存する。その際、モチーフの破損等に十分注意しておこなうこと。
7日	9:00	古い氷を捨て、新しい氷と交換。 新しい氷の袋を破り、氷を保冷箱に開ける。
	12:30	古い氷を捨て、新しい氷と交換。 必要があれば、溶けた氷を監督員のバケツに捨て、氷を追加する。

※上記作業の結果によるモチーフの交換はおこなわない。

■エスキースをする場合は、この用紙の裏を使用すること。

■出題用紙は、試験場から持ち出さないこと。

この用紙は1日目の終了時、保冷箱の上に受験番号記載面を上にして置き、退出する。出題用紙は、試験2日目の15時に回収する